

市民の皆さまへ ～新型コロナウイルス感染症における市長メッセージ～

全国的に第4波が拡大する中、本市においてもその影響が出てきており、場合によっては更なる危機的な感染拡大に至る可能性もあります。今回の第4波で特に心配なのは、変異株の急速な拡大です。従来型より感染力が強く、若い人にも感染しやすいとの報告もあっております。

- これを受けて、市新型コロナウイルス感染症対策本部会議では、
1. 5月11日までの期間、市内公共施設の利用は県民限定にする。
 2. 市主催イベントは中止・延期の検討をする。さらには、民間主催のイベントについても同様の措置をお願いする。
 3. 飲食・買い物などはできるだけ市内で済ませることをお願いする。
- ということを決定しました。

現在、本市でもワクチン集団接種を5月11日からの開始に向けて準備を進めております。まずは65歳以上の高齢者から接種を開始し、順次、対象者を拡大して実施していきます。

市民の皆さまには、これまでもさまざまな生活上の制限をお願いしており、大変心苦しく思っております。しかし、ワクチン接種が始まる前のこの時期が感染の収束に向けた踏ん張りどころ、大切な時期であると考えます。いましばらくご不便をおかけしますが、ご自身や周りの大切な人たちの命を守るためにも、下記の感染対策の徹底と、移動の自粛にご協力をお願いいたします。

荒尾市長 浅田 敏彦

市民の皆さまへのお願い

基本的な感染症対策

- ①マスクの着用、
- ②手指消毒の徹底、
- ③3密（密集・密閉・密接）の回避

移動の自粛

- ①感染拡大地域などへは行かない
- ②飲食・買い物などはできるだけ市内で済ませる

STOP！コロナ差別

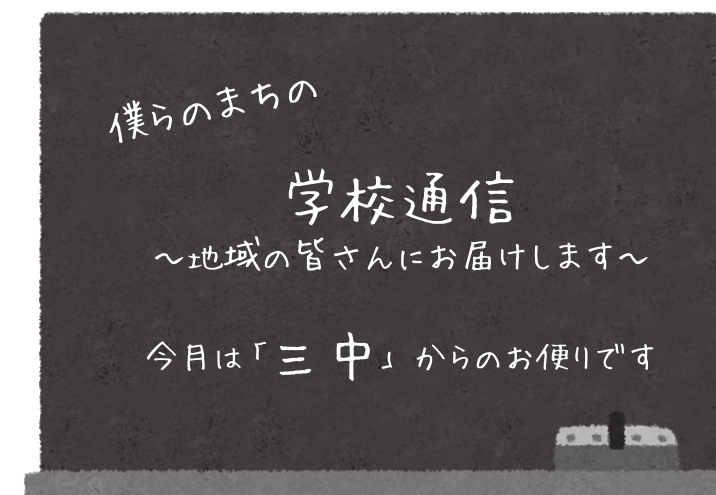
どんなに感染症対策を行っていても、誰にでも感染してしまう可能性はあります。不安や偏見、不確かな情報から、感染者やその家族、医療従事者などへの不当な扱いや嫌がらせ、インターネットでの誹謗中傷などは差別につながります。正しい知識と情報をもとに行動することが、差別をなくし新型コロナウイルス感染症から自分や家族、みんなを守ることににつながります。

市内事業者向けヒアリング調査を行います

市内全事業所を対象に、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う事業者への影響や業況などを把握するため、ヒアリング調査を実施します。

- 調査時期 5～8月中
 - 調査方法 電話での聞き取り調査
 - 調査内容 業種、従業員数、業績の変化、支援策など
- ※詳しくは市ホームページ、市フェイスブックなどでご確認ください。

商産業振興課 商工・企業誘致推進室 ☎ 63-1432



校訓「自主 創造 協力」

荒尾第三中学校は全校生徒492人で、玉名管内でも大きな中学校です。生徒は真面目で明るく、学習や部活動に意欲的に取り組み活気があります。

スローガン「好きです！三中」



新3年生のリーダー研修

生徒全員が「この学校で学ぶことができて本当に良かった」「この友達や先生に出会えて本当に良かった」と思えるよう、教育活動に取り組んでいます。

本年度は、「自立型人間の育成」～本気の教育でなければ子どもは変わらない～の学校教育目標のもと社会的自立の基礎を身につけるため、あらゆる教育活動で、生徒自ら目標を立て、その目標達成のために具体的な方法を考え、最後までやりきる活動を推進しています。

昨年度からは市教育委員会の研究指定を受け、生徒の多様性を尊重し、一人一人に心の居場所のある学校づくりに取り組んでいます。校内適応指導教室（ハートフルルーム）が設置されるなど、生徒一人一人に寄り添い、保護者や地域の教育的ニーズに対応できる学校を目指しています。

生徒会の活動も活発で、「自分から大きな声で立ち止まって挨拶」「無音清掃」の徹底を生徒達自身で行っており、自分たちで呼びかけながら「二分前着席・一分前黙想」が定着してきました。チャイムがほとんど鳴らないため、生徒は時計を見て行動するなど、自立に向けた習慣が身につけてきました。

声の広報【文字による情報入手が困難な障がい者のための音声録音版広報紙】
☎ 福祉課福祉係 ☎ 63-1406

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、今月号に掲載している情報に変更が生じる場合もあります。イベントや行事への参加などをはじめ、掲載情報をご利用になる場合は最新の情報を改めて確認することをおすすめします。

広報あらおをスマホへお届け



アプリをダウンロードすると、いつでも・どこでも・簡単に広報紙を閲覧することができます。